

## 平成25年度完了事業一覧

選定基準に合致する部分  
 ア 再評価時に附帯意見が付された箇所  
 イ 次のいずれかに該当する箇所  
 ① 再評価を実施した箇所  
 ② 計画と実績の差が大  
 ③ その他の理由  
 選定候補  
 ※各課2事業まで

番号	事業担当課	事業名	箇所名等	市町村名	事業目的	事業概要				再評価実施年度	附帯意見内容等	その他		
						着手年度	※完了年度		※全体事業費(百万円)				事業量(単位) 〔最終実績〕	
							計画	実績	計画					実績
1	林政課	復旧治山事業	鶴ヶ坂山	青森市	下流にある国道等の保護及び重要な水源地域の森林保全。	H18	H22 H25	H25	118 195 255	247	山腹工 A=1.36ha 森林整備工 A=11.01ha	-		109.3% ■事業費30%以上の増
2	林政課	復旧治山事業	福浦	佐井村	山腹崩壊地において落石等を防ぐため、落石防止工等の山腹工事を実施。	H22	H25	H25	306	280	山腹工 A=0.55ha 調査測量試験費一式	-		
3	林政課	復旧治山事業	西虹貝山	大鰐町	平成22年の豪雨災害により、災害関連緊急治山を実施しているが、溪流内に不安定土砂等が多数存在していることから、治山ダム工、山腹工による森林の保全。	H23	H25	H25	100	108	治山ダム工 N=8個 山腹工 A=0.05ha	-		
4	林政課	予防治山事業	尾上崎	鱒ヶ沢町	渓床や溪岸浸食による土砂流出を防ぐため、谷止工等を実施。	H23	H23	H25	70	73	谷止工 N=1基 山腹工 A=0.17ha 水路工 L=186.7m 法枠工 A=1,604.0m <sup>2</sup>	-		
5	林政課	予防治山事業	牛牧	東通村	山腹崩壊地において、崩壊等を未然に防止するため山腹工事を実施。	H23	H24	H25	55	59	山腹工 A=0.11ha 調査測量試験費一式	-		
6	林政課	予防治山事業	相ノ窪	十和田市	山腹崩壊地において落石等を防ぐため、落石防止工を実施。	H24	H24 H25	H25	35 46	49	山腹工 A=0.11ha	-		40.0% ■事業費30%以上の増
7	林政課	地すべり防止事業	菅場	新郷村	地すべり防止区域内において、災害を防止・軽減するための対策工を実施。	H14	H20 H25	H25	1,041	1,034	集水井工 N=11基 ボーリング工 L=15,218m 治山ダム工 N=4個 護岸工 L=200m 水路工 L=1,136m 杭打工 N=36本 調査測量等1式	H24	なし	■再評価実施 ■工期5年以上延伸
8	林政課	地域防災対策総合治山事業	大泊	今別町	山林斜面下部の集落の保護。	H23	H25	H25	225	203	山腹工 A=1.57ha	-		
9	林政課	治山施設機能強化事業	石倉	東通村	既存の治山施設を有効活用し、その機能強化を図ることにより、山地災害を未然に防止し、生活環境の基盤を整備。	H24	H26	H25	70	61	山腹工 A=0.18ha 調査測量試験費一式	-		

## 平成25年度完了事業一覧

■ 選定基準に合致する部分  
 ア 再評価時に附帯意見が付された箇所  
 イ 次のいずれかに該当する箇所  
 ① 再評価を実施した箇所  
 ② 計画と実績の差が大  
 ③ その他の理由  
■ 選定候補  
 ※各課2事業まで

番号	事業担当課	事業名	箇所名等	市町村名	事業目的	事業概要				再評価実施年度	附帯意見内容等	その他		
						着手年度	※完了年度		※全体事業費(百万円)				事業量(単位) 〔最終実績〕	
							計画	実績	計画					実績
10	林政課	山地災害総合減災対策治山事業	小金沢	大鰐町	平成22年の豪雨により、上流域においては、溪岸浸食が進行し、不安定土砂等が溪流内に多数存在していることから、治山ダム、山腹工による森林の保全。	H23	H24	H25	55	54	治山ダム工 N=2個 山腹工 A=0.06ha	-		
11	林政課	海岸防災林造成事業	吹原畠元	つがる市	保安林の機能(防風)を最大限発揮させるため、森林造成を実施。	H24	H24	H25	59	59	防風工 L=61.6m 静砂工 L=1,618.0m 植栽工 A=1.75ha 水路工 L=603.9m	-		
12	林政課	奥地保安林保全緊急対策事業	尻高川	外ヶ浜町	重要な水源地及び下流域の国道や農地等の保全。	H24	H24	H25	18	20	森林整備工 A=14.82ha	-		
13	林政課	奥地保安林保全緊急対策事業	松ノ木沢	東通村	重要な水源地及び下流の保全対象を保全するため、谷止工や森林整備を実施。	H24	H26	H25	40	56	保育(受光伐) A=133.59ha 谷止工(木製) N=2基 調査測量試験費一式	-		40.0% ■事業費30%以上の増
14	林政課	水源の里保全緊急整備事業	高野川	むつ市	保安林の林況が著しく悪化し、保安林の指定目的が果せない箇所に編柵工、排水工などの簡易施設を組み合わせて植栽を行い、林況を回復。	H22	H24	H25	113	106	複層林造成 A=56.80ha 複層林誘導 A=35.73ha 簡易治山施設(丸太水路工) L=100.8m 調査測量試験費一式	-		
15	林政課	水源の里保全緊急整備事業	苗代川目	横浜町	水源かん養や土砂流出防止機能等を高度に発揮させるため、荒廃地や荒廃森林を一体的に整備。	H23	H25	H25	91	106	溪間工 N=2個 山腹工 A=0.06ha 森林整備 A=36.77ha	-		
16	林政課	保安林改良事業	出来島雉子森	つがる市	保安林の機能(飛砂防備)を最大限発揮させるため、森林整備を実施。	H23	H23	H25	81	81	防風工 L=783.60m 静砂工 L=4,991.0m 植栽工 A=1.31ha	-		
17	林政課	保安林改良事業	甲地	田子町	森林荒廃により、保安林機能が著しく低下している林分を整備し、森林の公益的機能を強化。	H24	H24	H25	60	60	作業道補修 L=2,450m 複層林誘導 A=75.36ha 複層林造成 A= 3.82ha 簡易治山施設1式 調査測量等1式	-		

## 平成25年度完了事業一覧

**選定基準に合致する部分**  
 ア 再評価時に附帯意見が付された箇所  
 イ 次のいずれかに該当する箇所  
 ① 再評価を実施した箇所  
 ② 計画と実績の差が大  
 ③ その他の理由

**選定候補**  
 ※各課2事業まで

番号	事業担当課	事業名	箇所名等	市町村名	事業目的	事業概要				再評価実施年度	附帯意見内容等	その他		
						着手年度	※完了年度		※全体事業費(百万円)				事業量(単位) 〔最終実績〕	
							計画	実績	計画					実績
18	林政課	フォレスト・コミュニティ総合整備事業	上十川大川原線	黒石市	黒石市北部の黒森山一帯の民有林877ha、蛭貝沢国有林374haの広域な森林整備の効率的な実施と、山村地域間を連絡するための骨格的な林道を整備し、山村地域の定住化の促進と生活環境の改善を推進。	H6	H15 H28	H25	1,000 2,128 1,874	1,654	林道開設 L=8,067.9m	H15 H20	なし	■再評価実施 65.4% ■事業費30%以上の増 ■工期5年以上延伸
19	農村整備課	畑地帯総合整備事業	広船	平川市	農道や排水路が未整備であり、農作業や農作物の運搬に支障をきたしていることから、農道及び排水路を整備し、効率的・安定的な経営の確立を図る。	H22	H25	H25	120	125	農道 L=653.7m 排水路 L=1,270.5m	-		
20	農村整備課	経営体育成基盤整備	野木	青森市	水田区画が未整形であり、暗渠排水が未整備であることから、水田区画及び暗渠排水の整備を行い、水田の汎用化による作物選択枝の拡大や農地集積を進め、効率的・安定的な経営の確立を図る。	H21	H25	H25	460	515	区画整理 A=21.0ha 暗渠排水 A=18.2ha 客土 A=0.2ha	-		
21	農村整備課	農業水利施設魚道整備促進事業	大畑	むつ市	魚類遡上の障害となっている既設の魚道の改修により、魚道機能の回復を図り、河川環境及び生態系の保全を図る。	H22	H25	H25	64	85	魚道工 1箇所	-		32.8% ■事業費30%以上の増
22	農村整備課	里地里山・田園保全再生事業	大畑川	むつ市	魚類遡上の障害となっている既設の魚道を地域の人財を活用しながら改修し、魚道機能の回復を図り、河川環境及び生態系の保全を図る。	H24	H25	H25	36	36	魚道工 1箇所	-		
23	農村整備課	一般農道整備事業	新岡	弘前市	農道を有機的かつ合理的に整備することにより高生産性農業を促進し、併せて農村環境の改善に資する。	H20	H25	H25	340	434	道路工 L=2,342.9m	-		
24	農村整備課	一般農道整備事業	駒木沢	大鰐町	農道を有機的かつ合理的に整備することにより高生産性農業を促進し、併せて農村環境の改善に資する。	H20	H25	H25	414	462	道路工 L=2,468.4m	-		
25	農村整備課	一般農道整備事業	明神	平内町	農道を有機的かつ合理的に整備することにより高生産性農業を促進し、併せて農村環境の改善に資する。	H21	H26	H25	195	183	道路工 L=1,305.4m	-		
26	農村整備課	一般農道整備事業	高根	蓬田村	農道を有機的かつ合理的に整備することにより高生産性農業を促進し、併せて農村環境の改善に資する。	H21	H26	H25	290	184	道路工 L=1,840.0m	-		-36.4% ■事業費30%以上の減

## 平成25年度完了事業一覧

**選定基準に合致する部分**  
 ア 再評価時に附帯意見が付された箇所  
 イ 次のいずれかに該当する箇所  
 ① 再評価を実施した箇所  
 ② 計画と実績の差が大  
 ③ その他の理由

**選定候補**  
 ※各課2事業まで

番号	事業担当課	事業名	箇所名等	市町村名	事業目的	事業概要				再評価実施年度	附帯意見内容等	その他		
						着手年度	※完了年度		※全体事業費(百万円)				事業量(単位) 〔最終実績〕	
							計画	実績	計画					実績
27	農村整備課	一般農道整備事業	根岸平	八戸市	農道を有機的かつ合理的に整備することにより高生産性農業を促進し、併せて農村環境の改善に資する。	H21	H25	H25	286	335	路面改良 L=4,038.0m	-		
28	農村整備課	経営体育成基盤整備事業(通作条件整備型)	十和田第1	十和田市	農道を有機的かつ合理的に整備することにより高生産性農業を促進し、併せて農村環境の改善に資する。	H22	H25	H25	132	135	路面改良 L=3,260.8m	-		
29	農村整備課	集落基盤整備事業	三戸	三戸町	農業集落周辺の地域における農業生産性の向上を図るため、農業生産基盤や農村生活環境の整備等を総合的に実施する。	H17	H22	H25	1,370	1,694	農用排 L=3,436.9m 農道 L=3,115.4m 集落道 L= 882.2m 飲雑揚水 N=1系統 集排 L= 622.9m 集落防災 N=4ヶ所	-		
30	農村整備課	中山間地域総合整備事業	東北	東北町	農業の生産条件が不利な中山間地域を対象として、農業生産基盤・農村生活環境基盤を総合的に整備し、農業・農村の活性化を図る。	H19	H24	H25	1,405	1,528	農用排 L=2,164.5m 農道 L=8,067.5m 生態系保全 L= 311.0m	-		
31	農村整備課	ため池等整備事業(用排水)	野崎	七戸町	老朽化した水路の荒廃により、洪水時に農用地及び農業用施設に被害を及ぼしていることから、排水路を整備することにより、被害を防止する。	H19	H23	H25	512	398	水路工 L=925.2m	-		
32	農村整備課	ため池等整備事業(用排水)	田山堰	黒石市	施設の老朽化にともない、水路機能が脆弱化しているほか、周辺農地への影響も懸念されることから、水路を整備することにより、被害を防止する。	H23	H25	H25	104	102	水路工 L=758.9m	-		
33	農村整備課	ため池等整備事業(用排水)	柘形堰	深浦町	山腹急斜面の崩落により用水路が崩壊し水田への取水ができず営農に支障をきたしていることから、水路を補修し、安定した用水の確保を図る。	H24	H25	H25	39	39	水路工 L=22.0m	-		
34	農村整備課	農業用河川工作物応急対策事業	赤川	平内町	施設の老朽化により、洪水時には被害を及ぼす恐れがあることから、既設頭首工の撤去と取水水路の整備を行う。	H24	H25	H25	79	59	頭首工撤去 1式	-		
35	農村整備課	湛水防除事業	高根	中泊町	外水位上昇等に起因する既設排水機場の吐出量不良による湛水被害を解消するため、排水機場を整備し湛水被害を防止する。	H19	H25	H25	2,100	1,884	排水機場 1箇所	-		

## 平成25年度完了事業一覧

選定基準に合致する部分  
 ア 再評価時に附帯意見が付された箇所  
 イ 次のいずれかに該当する箇所  
 ① 再評価を実施した箇所  
 ② 計画と実績の差が大  
 ③ その他の理由  
 選定候補  
 ※各課2事業まで

番号	事業担当課	事業名	箇所名等	市町村名	事業目的	事業概要				再評価実施年度	附帯意見内容等	その他		
						着手年度	※完了年度		※全体事業費(百万円)				事業量(単位) 〔最終実績〕	
							計画	実績	計画					実績
36	農村整備課	地すべり対策事業	下菖蒲沢	鱒ヶ沢町	地すべり防止区域において、地すべり防止施設を整備することにより、農地、農業用施設等を守り、農業基盤の維持を図る。	H20	H23	H25	378	344	地すべり対策 1式	-		
37	農村整備課	海岸保全施設整備事業	奥戸	大間町	高潮等による被害を防止するため、堤防を整備することにより、防災機能の向上と強化を図る。	H23	H25	H25	152	201	堤防工 L=366.2m	-		32.2% ■事業費30%以上の増
38	漁港漁場整備課	水産生産基盤整備事業	十三	五所川原市	当地区は、十三湖内に位置する十三漁港十三地区においてシジミ漁を中心とした内水面漁業が盛んに営まれている。しかし、近年、内水面漁業に加えて、水産資源の有効活用、地域漁業の経営安定化などを目的に新たに海面漁業へ展開を行っているが、河口部の水深不足や湖内の凍結等により外海への出漁は大きく制限されているため、外海に面した十三湊地区に漁港を整備することで海面漁業への展開を支援し、安全で鮮度の高い水産物の安定供給を図る。	H14	H23 H24 H25	H25	5,200 5,100 4,895	4,895	【十三漁港(十三湊地区)】 西防波堤400.0m 北防波堤295.0m、突堤80.0m 南護岸160.0m、西護岸80.0m -2.0m泊地5,500㎡ -3.0m泊地8,000㎡ -2.0m物揚場163.0m -3.0m岸壁65.0m 船揚場110.0m、道路500.0m 漁港施設用地29,000㎡ 用地護岸60.0m 【十三漁港(十三地区)】 -1.5m物揚場76.0m 漁港施設用地400㎡	H18 H23	なし	■再評価実施

## 平成25年度完了事業一覧

	<b>選定基準に合致する部分</b> ア 再評価時に附帯意見が付された箇所 イ 次のいずれかに該当する箇所 ① 再評価を実施した箇所 ② 計画と実績の差が大 ③ その他の理由	選定候補 ※各課2事業まで
--	--	------------------

番号	事業担当課	事業名	箇所名等	市町村名	事業目的	事業概要				再評価実施年度	附帯意見内容等	その他		
						着手年度	※完了年度		※全体事業費(百万円)				事業量(単位) 〔最終実績〕	
							計画	実績	計画					実績
39	漁港漁場整備課	水産生産基盤整備事業	奥戸	大間町	当地区は、港口部及び港内の静穏度不足や係船岸不足により陸揚作業等に時間を要していたほか、天日加工場等の用地が不足していたため、外郭施設、係留施設及び漁港施設用地を整備し、漁業活動の効率化を図るとともに快適な就労環境を形成する。また、漁港近隣にアワビの増殖場を整備するほか、魚礁漁場を集中的に整備し、ヒラメ等根付魚類を増殖することにより、漁業経営の安定化を図る。	H14	H23 H24	H25	3,715 3,400	3,196	【奥戸漁港(奥戸地区)】 西防波堤113m -3.0m岸壁105m -2.0m物揚場45m 船揚場100m、道路25m 【奥戸漁港(小奥戸地区)】 南防波堤100m 西防波堤277m 北防波堤50m、突堤20m 北護岸130m -3.0m泊地4,800㎡ -2.0m泊地850㎡ -3.0m岸壁40m -2.0m物揚場40m 船揚場110m、道路80m 漁港施設用地7,440㎡ 【材木漁港】 第2北防波堤175m 北護岸60m、突堤20m 第2東防波堤120m -3.0m泊地1,700㎡ -3.0m岸壁60m 第2船揚場100m、道路150m 漁港施設用地4,600㎡ 【奥戸(並型)魚礁漁場】 魚礁漁場0.98ha 【奥戸(地先)増殖場】 増殖場3.96ha 【奥戸(広域)増殖場】 増殖場12.0ha	H18 H23	なし	■再評価実施
40	漁港漁場整備課	海岸保全施設整備事業	鯉ヶ沢漁港	鯉ヶ沢町	当海岸は、日本海に面した鯉ヶ沢町に位置し、海岸背後の国道101号沿いには人家が密集しているほか、はまなす公園、日本海拠点館などの公共施設が立地する地域であるが、度重なる波浪等により背後の人家に越波浸水による被害などが発生しているため、既設の護岸及び離岸堤を改良し、越波浸水被害の防止を図る。	H13	H19 H24	H25	1,100 2,070	2,020	護岸(改良) 1,080m 潜堤 430m	H22	なし	■再評価実施 83.6% ■事業費30%以上の増 ■工期5年以上延伸

## 平成25年度完了事業一覧

■ 選定基準に合致する部分  
 ア 再評価時に附帯意見が付された箇所  
 イ 次のいずれかに該当する箇所  
 ① 再評価を実施した箇所  
 ② 計画と実績の差が大  
 ③ その他の理由  
□ 選定候補  
 ※各課2事業まで

番号	事業担当課	事業名	箇所名等	市町村名	事業目的	事業概要				再評価実施年度	附帯意見内容等	その他		
						着手年度	※完了年度		※全体事業費(百万円)				事業量(単位) 〔最終実績〕	
							計画	実績	計画					実績
41	漁港漁場整備課	漁港施設機能強化事業	稲生	平内町	当地区は、冬期風浪による越波により養殖用作業施設の破損及び漁具が流出するなどの被害が発生しており、現行の海象条件に対して漁港施設の機能が十分に確保されていない状況にある。 このため、機能が低下している西防波堤及び西護岸の改良を行い、安全で効率的な水産物供給体制を構築する。	H24	H24	H25	100	100	西護岸90.9m 西防波堤27.3m	-		
42	漁港漁場整備課	漁港施設機能強化事業	檜川地区	むつ市	本漁港は、現在、低気圧等の襲来時において、南防波堤等からの越波により、港内の静穏度が悪く、漁船同士の接触や用地への浸水による漁具の流出の被害が発生している状況となっているため、外郭施設の嵩上げ改良を行い、安全で効率的な水産物供給体制を構築する。 また、災害発生時に生産拠点としての機能を確保するため、主要な陸揚げ岸壁等の地震・津波に対して安定性の検証を行い、被災後の水産物供給基盤の機能の維持を図る。	H24	H28 H25	H25	500 520	336	南防波堤122.2m 第2南防波堤130.2m 護岸12.8m 機能診断1式	-	-32.8% ■事業費30%以上の減	

## 平成25年度完了事業一覧

選定基準に合致する部分  
 ア 再評価時に附帯意見が付された箇所  
 イ 次のいずれかに該当する箇所  
 ① 再評価を実施した箇所  
 ② 計画と実績の差が大  
 ③ その他の理由  
 選定候補  
 ※各課2事業まで

番号	事業担当課	事業名	箇所名等	市町村名	事業目的	事業概要				再評価実施年度	附帯意見内容等	その他		
						着手年度	※完了年度		※全体事業費(百万円)				事業量(単位) 〔最終実績〕	
							計画	実績	計画					実績
43	道路課	県道改築事業	八戸大野線(田代)	八戸市	八戸大野線において、幅員狭小・歩道未整備の交通安全上の危険区間を解消することを目的として整備を行うものである。	H14	H24	H25	1,219	1,281	計画延長L=1,720m 計画幅員W=6.5(12.0)m	H23	なし	
44	道路課	県道改築事業	八戸環状線(糠塚)	八戸市	八戸環状線において、八戸ICと国道45号八戸南環状道路をつなぎ、八戸市街地の渋滞解消を図ることを目的として整備を行うものである。	H8	H25	H25	9,265	9,816	計画延長L=1,950m 計画幅員W=13.0(24.0)m	H17 H22	なし	■再評価実施
45	道路課	県道改築事業	むつ尻屋崎線(岩屋)	東通村	むつ尻屋崎線の人家連胆部における幅員狭小区間を解消して下北半島国定公園へのアクセス向上を図り、地域の観光・経済の活性化に寄与するため整備を行うものである。	H5	H30	H25	4,200	3,996	計画延長L=4.040m 計画幅員W=6.0(9.0)m	H16 H21	(H16)自然環境等に影響が出ないように配慮すること。完了年度が平成30年度となっており、便益の発現が遅くなることが見込まれることから、事業計画の見直し等によって効果の早期発現の可能性を検討すること。	■再評価時附帯意見 ■再評価実施
46	道路課	道路改築事業	陸奥尻屋崎線(尻屋)	東通村	幅員狭小区間を解消し、安全で円滑な交通の確保及び周遊観光の振興を図るため、整備を行うものである。	H14	H25	H25	210	235	計画延長L=540m 計画幅員W=5.5(9.5)m	H23	なし	■再評価実施
47	河川砂防課	河川改良事業	薄市川	中泊町	市街地から左支川の合流点までの区間について河川の改良工事を行い、当該区間及び下流市街地の人家及び田畑を洪水被害から守る。	H16	H19	H25	250	196	築堤工L=680m 掘削工L=680m 樋門 N=2箇所	-	-	■工期5年以上延伸
48	河川砂防課	河川改良事業	姉沼川	六戸町	県道三沢七戸線金谷橋上流の一連区間について、自然環境の保全に配慮しながら河川の改良工事を行い、姉沼川沿川人家や田畑を冠水被害から守る。	H19	H23	H25	200	200	築堤工L=1,660m 掘削工L=780m	-	-	
49	河川砂防課	通常砂防事業(総流防)	大范沢	中泊町	■土石流等の土砂災害から下流域に存在する人家や公共施設等を保全することを目的とし、砂防堰堤等の砂防設備の整備を行う。	H18	H21	H25	216	237	堰堤N=1基 溪流保全工L=59m	-	-	



## 平成25年度完了事業一覧

選定基準に合致する部分  
 ア 再評価時に附帯意見が付された箇所  
 イ 次のいずれかに該当する箇所  
 ① 再評価を実施した箇所  
 ② 計画と実績の差が大  
 ③ その他の理由  
 選定候補  
 ※各課2事業まで

番号	事業担当課	事業名	箇所名等	市町村名	事業目的	事業概要				再評価実施年度	附帯意見内容等	その他		
						着手年度	※完了年度		※全体事業費(百万円)				事業量(単位) 〔最終実績〕	
							計画	実績	計画					実績
50	河川砂防課	急傾斜地崩壊対策事業	磯谷区域	佐井村	■がけ崩れ災害から急傾斜地崩壊危険区域内の住民の生命を守るため、急傾斜地斜面の崩壊防止対策工事を行い、民生安定と国土の保全を図る。	H20	H25	H25	207	209	施行延長 L=305.7m 連続繊維補強土工A=2,507㎡ 現場打吹付法砕工A=904㎡ 繊維コンクリート吹付工A=443㎡	-	-	
51	河川砂防課	急傾斜地崩壊対策事業	旗野台団地1号区域	青森市	■がけ崩れ災害から急傾斜地崩壊危険区域内の住民の生命を守るため、急傾斜地斜面の崩壊防止対策工事を行い、民生安定と国土の保全を図る。	H20	H25	H25	290	262	施行延長 L=260m 連続繊維補強土工A=11,200㎡	-	-	
52	河川砂防課	急傾斜地崩壊対策事業	茂森町2号区域	弘前市	■がけ崩れ災害から急傾斜地崩壊危険区域内の住民の生命を守るため、急傾斜地斜面の崩壊防止対策工事を行い、民生安定と国土の保全を図る。	H21	H25	H25	95	83	施行延長 L=125m 補強土植生法砕工A=1,885㎡	-	-	
53	河川砂防課	急傾斜地崩壊対策事業	舟岡4号区域	外ヶ浜町	■がけ崩れ災害から急傾斜地崩壊危険区域内の住民の生命を守るため、急傾斜地斜面の崩壊防止対策工事を行い、民生安定と国土の保全を図る。	H21	H25	H25	270	247	施行延長 L=420m 連続繊維補強土工A=11,990㎡	-	-	
54	河川砂防課	急傾斜地対策事業	赤平1号区域	東通村	■がけ崩れ災害から急傾斜地崩壊危険区域内の住民の生命を守るため、急傾斜地斜面の崩壊防止対策工事を行い、民生安定と国土の保全を図る。	H19	H25	H25	200	195	施行延長 L=312m 連続繊維補強土工A=4,600㎡	-	-	
55	河川砂防課	急傾斜地対策事業	唐崎2号区域	中泊町	■がけ崩れ災害から急傾斜地崩壊危険区域内の住民の生命を守るため、急傾斜地斜面の崩壊防止対策工事を行い、民生安定と国土の保全を図る。	H21	H25	H25	80	82	施行延長 L=86.8m 補強土植生法砕工A=1,680㎡	-	-	
56	河川砂防課	急傾斜地対策事業	類家一丁目区域	八戸市	■がけ崩れ災害から急傾斜地崩壊危険区域内の住民の生命を守るため、急傾斜地斜面の崩壊防止対策工事を行い、民生安定と国土の保全を図る。	H22	H25	H25	60	50	施行延長 L=90m 補強土植生法砕工A=1,006㎡	-	-	

## 平成25年度完了事業一覧

選定基準に合致する部分  
 ア 再評価時に附帯意見が付された箇所  
 イ 次のいずれかに該当する箇所  
 ① 再評価を実施した箇所  
 ② 計画と実績の差が大  
 ③ その他の理由  
 選定候補  
 ※各課2事業まで

番号	事業担当課	事業名	箇所名等	市町村名	事業目的	事業概要				再評価実施年度	附帯意見内容等	その他		
						着手年度	※完了年度		※全体事業費(百万円)				事業量(単位) 〔最終実績〕	
							計画	実績	計画					実績
57	河川砂防課	急傾斜地対策事業	栄山1号区域	青森市	■がけ崩れ災害から急傾斜地崩壊危険区域内の住民の生命を守るため、急傾斜地斜面の崩壊防止対策工事を行い、民生安定と国土の保全を図る。	H23	H25	H25	43	53	施行延長 L=109m 補強土植生法砕工A=836㎡	-	-	
58	河川砂防課	急傾斜地対策事業	栄町三丁目区域	三沢市	■がけ崩れ災害から急傾斜地崩壊危険区域内の住民の生命を守るため、急傾斜地斜面の崩壊防止対策工事を行い、民生安定と国土の保全を図る。	H23	H25	H25	53	54	施行延長 L=44m 現場打吹付法砕工A=700㎡	-	-	
59	河川砂防課	急傾斜地対策事業	富范区域	つがる市	■がけ崩れ災害から急傾斜地崩壊危険区域内の住民の生命を守るため、急傾斜地斜面の崩壊防止対策工事を行い、民生安定と国土の保全を図る。	H24	H25	H25	31	35	施行延長 L=53.2m プレキャスト法砕工A=377㎡	-	-	
60	港湾空港課	大湊港海岸(侵食)事業	大湊地区	むつ市	既設護岸は昭和40年代に建設されたものであり、経年劣化や長年の波浪等によって、ひび割れや基礎部分の洗掘が顕著に発生していたことから、海岸保全機能の回復を図るため、護岸の改良事業に着手したものである。	H12	H24	H25	2,100	1,577	護岸(改良)L=900m	H21	無し	■再評価実施

※ 計画変更が行われた場合は、「計画」欄に経過を明示すること。